

# あすりーと高岡

第20号



第55回高岡市民総合体育大会 総合開会式  
ビーチボール競技 立浪栄造選手の宣誓

## 会長就任にあたり

（脚高岡市体育協会 会長 荒井 公 夫



2000年国体の開催にあたって多大なご功績を残され、また6年にわたって本協会の発展にご尽力された塩谷孝一前会長の後任として、この度五十六年もの輝く歴史と伝統の（脚高岡市体育協会の会長に就任いたしました。

戦後まもない昭和二十二年の発足以来、歴代の会長・役員はじめ関係各位の並々なご尽力により、年々充実発展してまいりましたが、近年は市内企業の競技部の休廃部が相次ぎ、少子化による基礎的な競技人口の減少など、当協会を取り巻く社会的環境は一段と厳しくなっています。

選手の育成、指導者の確保、あるいは各種競技会の開催や協力などは勿論、これからは幅広い年代の方々がスポーツを楽しむことができる環境の整備にも力を入れなければなりません。

もとより微力ではありますが、このような課題に誠心誠意取り組んでまいる所存でありますので、高岡市をはじめ関係諸団体、加盟団体の方々には倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方の益々のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

## 平成14年度評議員会 体育功労者表彰式

平成14年5月18日(土)  
於 高岡商工ビル



平成十四年度評議員会は、三十九加盟団体、六賛助団体の代表出席のもと開催されました。

はじめに表彰式がおこなわれ、体育功労者として、下記の二十一の団体・個人が受賞されました。

評議員会では、平成十三年度財団法人高岡市体育協会事業報告、収支計算書、財産目録等の審議・承認の後、下記のとおり新役員が選任されました。

公務ご多用のなか、ご出席賜りました橋康太郎様より、当協会への激励の言葉と名誉会長ご退任のご挨拶がありました。

次に、永年、本市協会の発展に貢献された塩谷孝一前会長を名誉会長に、谷道巖前副会長、本保菱雄前副会長、豊本弘前副会長を相談役に推戴することとし、特別功労賞をお贈りいたしました。

引き続き、競技力の向上と市民のスポーツ活動の普及、振興を図るため、将来に向けて競技力の維持及び向上のため、特にジュニア層を中心に、して選手の育成に努めるとともに、ス

ポーツ人口の拡大を図るための平成十四年度事業計画(案)・収支予算(案)の審議が行われ、承認されました。(財)高岡市体育協会賛助会員の趣意について説明があり、本年度も当協会の事業発展・スポーツ振興のためにご援助、お力添えを賜るようになりました。

### 表彰状受賞者

- 吉崎 克文(サッカー協会)
- トナミ運輸バドミントン部
- 高岡ビッグウエーブ(ソフトテニス)
- 北陸流通 軟式野球部
- 高岡クラブ(銃剣道)
- 今井 紀夫(バドミントン協会)
- 大山 宏司(バドミントン協会)
- 舛田 圭太(バドミントン協会)
- 大東 忠司(バドミントン協会)
- 角地山 豊(レスリング協会)
- 久保 雅紀(レスリング協会)
- 滝田 悟(パワーリフティング協会)
- 安吉 永興(パワーリフティング協会)
- 小峯 秋二(ソフトテニス連盟)
- 金 智恩(ソフトテニス連盟)
- 竹澤 浩司(自転車競技協会)

### 感謝状受賞者

- 林 信正(ゲートボール協会)
- 小林 逸春(野球協会)
- 木呂場久子(卓球協会)
- 中村 彰(柔道連盟)
- 関口 謙(バレーボール協会)

## 平成十四・十五年度役員

### 名誉会長

塩谷 孝一(前高岡市体育協会会長)

### 顧問

- 佐藤 孝志(高岡市長)
- 南 義弘(高岡商工会議所会頭)
- 山沼 成敏(高岡市議会議長)

### 参与

- 細呂木六良(高岡市教育委員会教育長)
- 藤井 孝(財)高岡市民スポーツ振興事業団理事長
- 横田 安弘(高岡市体育指導委員協議会長)
- 多田 慎一(高岡市スポーツ少年団本部長)

### 相談役

谷道 巖(前体育協会副会長)

本保 菱雄(前体育協会副会長)

豊本 弘(前体育協会副会長)

### 会長

荒井 公夫(三協化成(株)相談役)

### 副会長

大坂 昭輔(前体育協会専務理事)

荒井 武夫(スキー連盟)

宮崎 外行(バスケットボール協会)

宇於崎 弘(伏木海陸運送(株)取締役社長補佐)

塩谷 雄一(塩谷建設(株)代表取締役社長)

### 専務理事

佐野 徹郎(陸上競技協会)

### 常務理事

高倉 正和(ソフトテニス連盟)

福尾 博志(バスケットボール協会)

### 理事

竹田 進(高岡市教育委員会体育保健課長)

氷見 脩(財)高岡市民スポーツ振興事業団事務局長

山田 均(高岡市民病院医療局長)

堺 三徳(バドミントン協会)

吉見 浩二(高岡法科大学助教授)

梶谷 詔夫(㈱タカギセイコー取締役総務部長)

駒井 進一(陸上競技協会)

谷内 浩仁(サッカー協会)

福田 宗志(柔道連盟)

京田 和男(バドミントン協会)

関 清嗣(水泳協会)

喜多 進(バレーボール協会)

二谷 憲行(スキー連盟)

魚谷美佐栄(ママさんバレーボール連盟)

内多君智世子(ビーチボール連盟)

藤井 秀盛(高岡市小学校体育行事委員会)

大道 真琴(高岡市中学校体育連盟)

浦上 樹(高岡地区高等学校校体育連盟)

### 監事

能登 宏司(弓道連盟)

中 寶(ソフトボール協会)

### 事務局

専務理事 佐野 徹郎

事務局長 阿実 正夫

スポーツ専門員 柳沢 栄一

事務局員 竹田 昌代

各加盟団体、賛助団体の連絡先をお知りになりたい方は、財団法人 高岡市体育協会へお尋ねください。

〒933-0044

高岡市古城一・八

(高岡市民体育館内)

TEL 〇七六六一二六・五三二五

# 土曜っ子スポーツチャレンジ事業

多くの競技で青少年のスポーツ人口減少が取りざたされています。少子化による減少が大きな要因ですが、テレビゲームや勉強に時間を費やし、子供がスポーツへ参加する割合の減少も指摘されています。

本事業は、完全学校週5日制で自由時間となった土曜日を活用し、第一期の走るスポーツ、第二期の泳ぐスポーツ、第三期のボールを使ったスポーツなどスポーツの基本を軸に、いろいろなプログラムを提供し、楽しくスポーツにふれあう機会づくりとして企画されました。

参加者がスポーツを好きになり、生涯にわたって、いろいろなスポーツに親しんでいける力を養えるきっかけとなることを願っています。

## 土曜っ子SCのよさととは

戸出西部小学校 岡本 裕

昨年、土曜っ子SCを立ち上げるにあたり、小学校側に委員の依頼がありました。今年度からの土曜休業に向けて、私自身過ごし方を考えていたところであり、地域で子供を育てるという週5日制の趣旨を自ら実践しようという思いもあって、教員と地域の人間との二つの立場からお引き受けをしました。様々な議論を交わしながら手探り状態でスタートした土曜っ子SCでしたが、第一期六回を無事終えて、私なりに感じているそのよさを述べたいと思います。

まず、いろいろな子供を想定して活動が考えられていることです。この土曜っ子SCには、一年生から六年生までいろいろな能力の子供たちがやってきています。準備段階で一番問題になったのも、そういう技能差の大きい子供たち全員に満足感を与えられるかということでした。第一期は陸上運動、ラ



この事業は、スポーツ振興くじの助成を受けて実施しています。

グビーでしたが、低・中・高学年別、さらにそれをいくつかに分けたグループングや、様々な用具を活用した多様な活動の場の工夫などによって、どの子も十分楽しむことができました。

次に、学校体育とは違う活動が体験できることです。専門の指導者が専用の用具を使って、動きのポイントを押さえながら指導してくれます。本物を体験することは、その運動の楽しさをより深く味わうことにつながっていきます。

さらに、違う学校の友達とふれ合えることです。

初めはバラバラだった子供たちも、活動を繰り返す中で、新しいかかわりが生まれてきています。もちろんトラブルもあるの



ですが、集団行動や対人関係を学ぶよい場になっています。

あるお母さんからこんな話を聞きました。「うちの子はここに来るのを楽しみにしているんですよ。」これこそ、土曜っ子SCの存在意義ではないでしょうか。どの子供もそんな思いがもてるよう、私たちはさらに努めていきたいと考えています。

## 土曜っ子SCの指導者として

高岡ジュニアラグビー 本川 透

私たちは、土曜っ子スポーツチャレンジの5回目・6回目としてラグビーを指導する機会をいただきました。

ラグビーというスポーツは、残念ながら日本では決してメジャースポーツとはいえません。まして高岡という小さな地方都市では、はっきり言ってマインナースポーツです。おそらく大半の参加者にとって、一生に一度しかないと思われるラグビーボールに触れる機会なので、ラグビーボールを使って存分に楽しんでもらうことを主眼として、今回の指導を企画しました。

企画にあたっては、参加してくれる子供たちが、心から楽しいと思えるようにアトラクションに知恵を絞りました。その結果、6つのアトラクション「イットトライ」、「ボール集め」、「二人一組ボール取り」、「サークルボール取り」、「グリッドパス」、「キックコンテスト（6回目は、グリッドパス2）」を企画しました。

これらのアトラクションに加え、他の球技にはない、ボールを手で持つて



いくらでも走ることが出来るラグビー特有の楽しさを味わってもらいたくて、最後の30分をゲームの時間にあてました。

ほとんどの子供たちがラグビー初体験、さらにはアトラクションの一部やゲームではコ

ンタクトプレー

（体と体がおつかり合うこと）がありますので、けがをしないかという不安もありましたが、いざ、ふたを開けてみるとそんな心配は危惧だったということがわかりました。参加した子供たちは、みんな生き生きとアトラクションやゲームに取り組んでくれました。

中には、闘志剥き出しでプレーしている子供もいたりして、是非、私たちのクラブ（高岡ジュニアラグビーフットボールクラブ）でラグビーをして欲しいと感じました。とにかく100人近い子供たちがラグビーボールを持って元気よく走りまわっている姿、この姿を見られたことが今回の大きな成果です。

この中から一人でも多くの子供たちがラグビーや色々なスポーツに興味を持ち、スポーツの裾野が広がっていくことを期待しています。最後に、来年オーストラリアでラグビーのW杯が開催されます。日本も先日アジアの代表になりました（万歳！）。サッカー日本代表と同じぐらいラグビー日本代表の応援をお願いします。

平成14年度

# ジュニア選手育成強化事業の紹介

## ～とやま国体の後に～

バスケットボール競技における  
ジュニア選手育成強化について

津田 久

### 一、昨年度の事業

昨年度は、ジュニア選手育成強化事業の一環として、元全日本選手を招聘し、小学生を対象に技術講習会を開催した。



二メートルを超える長身選手から直接指導されることで、小学生は大変刺激を受け、感動したようであった。また、主要な大会が終わった2月に開催したため、対象を6年生中心にしたことで、中学校でもバスケットボールを続ける動機付けにもなったようである。

一方、中学生を対象としては、四月に万葉杯、十二月も高岡杯を開催し、県外チームを招いての試合を行った。

今日では、県外チームとの練習試合は日常的に行われているが、冠杯をかけた大会は、ゲームの質をより高いものとするので、強化につながったといえよう。

### 二、今後の課題

ミニバスケットボールにおいては、少子化に伴うクラブ員の減少が大きな問題となっている。今後は、クラブ間の統合を視野に入れながらも、ミニバスケットボールの特色である地域に根付いた活動を支援するため、クラブの実情に即した技術講習会を



行っていきたい。その際には、とやま国体で活躍した地元メンバーを活用した継続的な指導を行えたいと思っている。

また、中学校の顧問は必ずしもバスケットボール競技が専門の者ばかりではないので、今後は指導者をバックアップする体制の確立や指導技術講習会も開催したい。

さらに、小・中学校の連携を強化するため、小・中学生合同の技術講習会や指導者講習会を計画的、継続的に開催し、小・中一環指導を目指したい。

### ジュニア選手

#### 育成強化事業の紹介

水泳競技 藤森 裕

昨年度より、月に2〜4回の合同練習会を実施している。この活動は、小・中高の一貫指導、水泳選手数の拡大、選手・指導者の情報交換を目的に、市内にある4つのスイミングクラブの選手から優秀選手を選び実施しているものである。

このような活動は、2000年とやま国体の強化策の一貫としても行われていた。現在行われている練習会は、参加対象者を小学生までに拡大しているため、100名余りの選手が参加している。選手にとっては、普段とは違う仲間と練習ができることもあり、互いに刺激しあって質

の高い練習が行われている。そのため、中学生の競技レベルが上がり、県内の勢力図を書き換えつつある。また、小学生は中・高生になってから活躍できるように、基礎的な練習を中心に取り組んで力を蓄えている。

この合同練習会は、指導者の意識も変えつつある。とかく、「自分のクラブの選手を強くしたい」となりがちであるが、今は「水泳が好きな選手は、みんな強くしてあげたい」「みんなが高岡市の選手を育てていこう」という意識が強くなってきている。

そのため、指導者は、指導方法や選手の状態など様々な情報を交換・共有し、個々の選手にあった指導を実践するよう心がけている。

しかし、問題がないわけではない。特に、冬場の練習場所の確保には苦慮している。現在、冬場は高岡総合プールの室内プールと休業日のスイミングクラブのプールを利用してもらっている。しかし、使用時間や使用コースなどで制約があり、夏の屋外50mプールが使用できる時のように、全員で活気のある練習ができないため、必ずしも快適な練習環境とはいえない。

今後、各方面と協力し課題を解決するとともに、この練習会で育った選手が、国体、インターハイ、全国中学校大会、



そして国際大会で活躍してくれる日がくることを期待している。

# ホープ紹介

## 全国大会を目指して

戸出中学校ソフトボール部  
戸出東部サッカースポーツ少年団

戸出中学校ソフトボール部を指導して  
はじめに  
コーチ 中 寶

部員全員が中学生になって始めるソフトボール競技、基礎練習の習得に「近道」はない。

地道に反復練習を積み重ね、根気よく続けること。生徒一人ひとりの体力や能力に応じた練習により個性を引き出し部活動の楽しさと仲間づくりを基本に指導に携わってきました。

### 目標を立てての練習

「計画を立てて練習」まず持つていなくてはいけないのは目標である。目標によって練習内容が変わってくるからです。

今年目標は高く、「北信越大会に勝って全国大会に出場する」を合言葉に部員たちは、夏の三年連続北信越大会出場の実績と伝統にささえられ、昨年の新人戦を勝ち進み春の北信越大会を経験している。

全中に出場するためには、何をしなければいけないのか、目標意識をもった練習である。

練習しているのは自分たちだけではないことや自分が苦しいときは、相手だって苦しいのである。

「練習はうらぎらない」ことを知っているから毎日一生懸命練習に励み、仲間と切磋琢磨する中で選手たちは、一段と強く逞しくなってきたと思っています。

### 感謝の気持ちが大切

自分たちを支えてくれるたくさんの人たちへの感謝の気持ちを常にもって取り組むことが大切なのです。

特に保護者会の協力と理解が部活動を盛り上げ選手たちのやる気と頑張りの原動力となっているからなのです。

### 過去の主な栄光

県選手権大会優勝一回、準優勝三回、北信越大会準優勝二回、県選手権(新

人)大会優勝一回、準優勝一回、県優勝二回、準優勝二回等

今年度は、既に北信越大会と中日本大会の出場が決まっている。

### 今後の課題

今年の生徒達は、投手、守備、打撃等三拍子そろった全国大会に出場するチームに成長したと思っている。勝負は時の運とも言いますが、欠けている所(プレッシャーにうち勝つ等)を大会までに鍛えてほしい。

勝つための必要条件として思うことは、チームワーク、集中力(瞬時の判断が試合を左右する)洞察力(相手のやることを見ぬく)等顧問の先生と協力し指導にあたりたい。

最後に、次世代を担うジュニア層の育成強化が重要課題として叫ばれている昨今、生徒たちが最後まで部活を全うし、ソフトボール競技を続けて欲しいと願っています。

私自身素晴らしい多くの方々に感謝するとともに、機会があれば指導者として努力を続けていきたいと思っています。

### ソフトボールをすることの喜び

戸出中学校 中井 宏美

私はソフトボールを通して努力することの大切さと勝つことの喜びを知ることができました。

うまくなりたかつたら、人の五倍練習すればいい。これは口で言うのは簡単ですが、実際に行動に移すのはとても難しいことだと思えます。しかし、結果というのは正直なもので、本当にやればやるほどいい結果を残すことができました。逆に少しでも練習を怠るとそれもすぐに結果にはね返ってきます。



した。努力を続けるといいことは困難ですが良い結果を残すために、はやくはならぬということを学びました。

私は一年生のころは今よりもずっと下手だったのでもいっつもベンチでチームを応援していました。でも練習を続けていくうちに少しずつ試合で使ってもらえるようになり、初めて公式戦で先発出場して勝ったときは本当に嬉しかったです。

それからは勝つためには何をすべきかを常に考えて部活に取り組みようになりました。また、どうすればもっと上のプレーができるのかと考えるようにもなりました。

「勝つ」という言葉には相手に勝つと自分に勝つとの二つの意味があると思います。自分にうち勝った人だけが人の上に立つことができるのだと思いません。

私たちの目標は富山県で一位になることと全国大会に出場することです。昨年の春には初めて春季の北信越大会に出場しました。結果は一回戦負けでしたが、今の自分達には何が足りないのかを知ることができていい経験になったと思います。

今、戸出中学校ソフトボール部は三年連続で夏季の北信越大会に出場していますがいずれもベスト8とまりです。だから今年こそはその壁を破り勝ち進んでいきたいです。自分達の持つてくるすべての力を出し切って、満足のいく結果を残したいです。



全日本少年サッカー大会に向けて

戸出東部サッカースポーツ少年団

監督 平 千代志

戸出東部サッカー部が、全国大会初出場の栄冠を勝ち取り、選手達は夢の東京読売ランドサッカー場に向けて、希望と期待で胸をいっぱいにつくらせています。

先日行われた北信越大会での優勝によって選手達は自分達のサッカー

に自信がもつことができたと思います。初戦突破を目指して頑張ってきました。ここで選手達の気持ちを紹介します。

優勝候補の柏レイソルのグループだけれど、みんなの気持ちを一つにして優勝を目指して頑張っています。

本田佑馬 ぼくがフィールドに立った時は体を張ってプレーしたいです。高畑祐哉 自分の役割をしっかりと果たして100%の力を出していい試合をしたい。

長森広起 この大会に向けてたくさん練習をしてきたのでそれを生かして全日本大会では優勝したいです。川越康高 初めての全国大会に少し緊張していますが自分がチームを盛りあげていきたいです。

篠井章太郎 いろいろな県代表がくるけど負けられないように頑張りたいです。前からつめてボールを奪い得点したいです。

青島隆晃 まだまだ紹介しきれませんが選手達は一人一人一生懸命プレーする事を誓い勝利を目指して心に残る夏を体験するでしょう。

## スポーツドクター・アドバイス

高岡市民病院 医療局長

整形外科 山田 均

# ストレッチングの重要性

なぜ、いまさらストレッチングなのだと思ふ方も多いと思いますが、長年スポーツドクターをやっていますが、長年、スポーツ障害（日々の練習の積み重ねにより関節や筋肉や骨を痛める）をおこす原因の大部分は、筋肉の柔軟性の低下だと考えています。筋肉がかたいのは体質でストレッチぐらいでは改善しないと考えている選手が多いように思います。腰が痛い、肩が痛い、膝が痛いといって受診する選手の多くは、関節や腰そのものにはたいした病変はなく、筋肉がかたくなっているために体の動きに無理が生じ、その結果あちこちの痛みを生じているようです。そうした選手に「日頃ストレッチはしていますか？」と聞くと、ほとんどの選手が「やっていません」と答えます。それでは、「どんなふうに行っていますか？」と聞くと、「エー」といってすぐストレッチの姿勢がとれません。たとえストレッチの姿勢ができたとしても、「では今どの筋肉をのばしているのですか？」と聞くと、また「エー」となってしまいます。完璧にストレッチの姿勢ができ、しかも伸ばしている筋肉がどれであるかが意識できていたとしても、自分に見合った筋肉のストレッチ感まで理解できている選手は非常に少ないと思います。このようにスポーツ選手として体のケアでもっとも重要であるストレッチに関し、この程度の知識しかもっていないということは大変なげかわしいことです。筋

肉がかたいということは、筋肉の中を通っている血管が、かたくなった筋肉により押しつぶされ細くなってしまう、その結果、疲労産物である乳酸の排出が悪くなると同時に、筋肉の疲労を回復させるための酸素の供給が十分に行われなくなります。したがって筋肉は慢性疲労の状態となり、せつかくトレーニングを行っているにもかかわらずパフォーマンスがあがってこないことになります。たとえば、太ももの前や後ろの筋肉がかたくなると、しらずしらずのうちに、腰の姿勢が悪くなり腰痛をおこしたり、ランニングの際に滑らかなストライドが行えず、膝の痛みがでたり、記録も頭打ちになってきます。ジャンプの着地も衝撃的となり、足の痛みの原因となります。当然、肉離れの危険も高くなります。ストレッチは練習の前後に、個々のケアとして行われる場合が多く、指導者の目が届かないことが多いようです。指導者の方はたまには体の硬さをチェックし、ストレッチの方法が正しいか否か、ストレッチ感が意識されているのかを確認していただきたいと思えます。ストレッチを行ううえでの注意は(1) 反動をつけない、(2) 呼吸はとめないで自然に、(3) 少し痛みを感じる強さで、(4) 30秒程度同じ姿勢を維持する、(5) なるべく全身を行う、(6) 単一の筋肉毎に行う、などです。

図は太ももの前と後ろの筋肉のかたさをみる検査です。あおむけに寝て、

### 筋肉の硬さを調べる検査法



太ももの前のかたさをみる



太ももの後ろのかたさをみる

膝を伸ばした状態で、おしりが浮き上がらず、滑らかに股関節が90°になるまで足が挙上できれば問題ありません。うつぶせに寝て、膝を曲げていき、踵がおしりに滑らかに接触すれば問題ありません。これができる場合は筋肉がかたくなっていますので、ストレッチをしつかり行うようにして下さい。

### 加盟団体紹介(31)

## 高岡市ゲートボール協会

高岡市ゲートボール協会は昭和56年に設立され、昨年10月に20周年記念式典を関係の方々ご臨席のもと、盛大に行いました。

この間、高岡市をはじめ高岡市体育協会、富山県ゲートボール協会並びに関係各位のご指導とご理解を頂きながら、更なる発展に努めているところでございます。

ゲートボールの歴史は、一九四七年（昭和22年）北海道芽室町の鈴木栄次氏が考案され、最初は子どもの遊びでしたが、一九七〇年代からは高齢者を中心に爆発的ブームとなりました。

組織も幾多の変遷を経て一九八〇年に、全国組織の日本ゲートボール連合が設立されました。

連合が、世界にゲートボールを普及し、一九八五年には世界ゲートボール連合が誕生し、以来各国で地域大会、世界大会が行われています。

この度、富山県で中沖知事・宮本県ゲートボール協会会長が数年にわたり誘致に努力された結果、来る10月11日から13日まで第八回世界ゲートボール選手権大会が、県総合運動場にて開催されます。

海外から90チーム、国内から50チームが参加し、素晴らしい競技が盛大に行われます。

当協会からも、競技員と審判員25名が研修を重ねて協力をする事になっています。

身近なところで世界大会が開催される機会に、ぜひ皆さんにはゲートボールの素晴らしさを見て頂いて、興味を持って頂きたいと思えます。

さて高岡市ゲートボール協会の会員数は、昭和62年千七百名が最高でその後は残念ながら減少傾向にあります。

これは、会員の高齢化に伴う減少とスポーツの多様化によるものと思われませんが、この現状に対し協会全役員は一丸となつて若年層を開拓するため、官公庁・会社・各種学校に呼びかけているところで、その成果を期待しているところです。



ゲートボールはレクリエーション・スポーツから始まり健康スポーツとして、また技術力・作戦力を問う競技スポーツとして、最高に面白い「素晴らしい」スポーツです。生涯スポーツとして是非ともゲート

ボールをお勧めします。

本年二月に、国会議員百四十四名が政党の枠を超えて集まり、ゲートボール振興議員連盟が発足しました。

これはゲートボール振興を通じて、国民の健康・体力の保持増進を図り、広く国民がスポーツに親しみ、明るく豊かな地域社会づくりを寄与することを目的としていますので、近い将来には国民体育大会の正式種目になることが待たれます。

一年間を通じて各種競技大会を実施していますが、屋内ゲートボール場は少なく、その大半は、庄川河川敷緑地公園グラウンドが会場になります。

楽しい競技大会にするには、会場の除草・草刈り・整地等の維持管理が必要で、

協会としては、競技大会ごとに役員の手を掛けて整備していますが、特に車両の乗り入れでコートが荒らされ、その対応に苦慮しています。

また競技大会には、数百名の選手が参加するため、衛生設備の充実を要望されているので、関係機関の協力を得て善処したいと思えます。

ゲートボールの指導をご希望の方は事務所にご連絡下さい。

高岡市本丸町7番1号  
高岡市ゲートボール協会

TEL 28-22448

### ス ポーツアングル

銃剣道連盟副会長 橋本 峰雄

平成十二年に開かれた「二〇〇〇年とやま国体」は、二十一世紀を目指した歴史的に意義深い、大きな節目にあたる大会であった。真に、国民のスポーツの祭典となるような綿密な準備と、従来とは一味違う大会となるよう銃剣道連盟一丸となって企画・運営に取り組んだ。

さて、富山県新世紀スポーツプランの重点施策のなかに「二十一世紀を担う健康でたくましい子どもたちの育成を推進します」という施策がある。二十一世紀で活躍するジュニア選手の育成としては、総合的な基礎体力づくりが大切であろう。学校体育では、球技・陸上・体操・水泳・武道などさまざまな運動を行うことで、運動好きな児童・生徒を育成するようお願いしたい。銃剣道などの優秀な選手は、地域のスポーツクラブで育った選手が多い。社会教育の一環として選手の育成・強化を考えていくことも重要であろう。

選手の育成には、スポーツ医学を含めた科学的練習法を積極的に導入すべきであると思う。科学的練習法は、身体に無理を与えず、能力を効果的に引きだし、理にかなった鍛錬は、選手寿命を長持ちさせることにもなる。

銃剣道連盟でも、いま述べたことをふまえながらジュニア選手の育成強化に積極的に取り組んでいきたい。



### 都市対抗野球大会初出場 伏木海陸運送野球部

第七十三回都市対抗野球大会（八月二十六日～九月三日・東京ドーム）に伏木海陸運送野球部がはじめて出場することが決定しました。

北信越ブロック代表として大活躍してくれることを期待したい。

### フェンシングで日本代表に

上野 恵梨子さん  
(高岡古城ク、木津小6)

七月二十七日～二十八日に札幌市で行われたフェンシングの全国少年大会で、小学生女子の部に準優勝した上野さんは、十一月にドイツ・ハレ市で開かれるケニーヒカップ国際大会に、日本代表として出場する。御活躍をお祈りします。

### 軟式野球で全国大会出場

一般

JMCクラブ（旧日本重化学工業野球部）は、七月二十六日～二十八日に行われた北信越大会で優勝して、静岡県磐田市で十月十一日～十四日に開催される高松宮賜杯第四十六回全日本軟式野球大会に出場する。御健闘を祈ります。

学童

定塚イーグルスは、高岡地区代表で、八月十九日～二十二日に大阪舞洲ベースボールスタジアムで開催されるJ.R西日本学童野球大会に出場する。

御健闘を祈ります。

## 加盟団体役員一覧

平成14年6月現在

加盟団体名	会長	理事長	加盟団体名	会長	理事長
高岡市水泳協会	小馬 保	樋口 幸良	高岡市パワースキー連盟	横田 安弘	吉岡 茂喜
高岡市陸上競技協会	谷道 巖	駒井 進一	高岡市スキー連盟	荒井 武夫	二谷 憲行
高岡野球協会	畠 起也	紺谷 文夫	高岡市セーリング協会	金森 米男	越田 哲也
高岡市ソフトボール協会	石灰 昭光	野竹 信雄	高岡市ゲートボール協会	横田 安弘	中田 俊雄
高岡市ソフトテニス連盟	渡辺 辰男	山本 清行	高岡市スケート連盟	二上 桂介	竹本 俊文
高岡市卓球協会	金森 昌義	堀 郁夫	高岡市ボウリング連盟	向井 英二	林 徹雄
高岡市バドミントン協会	佐武 俊作	京田 和男	高岡市ゴルフ連盟	渡辺 辰男	三角 武重
高岡市バレーボール協会	八箇 雅男	喜多 進	高岡市ビーチボール連盟	宮本 弥生	奥村 隆
高岡市バスケットボール協会	福尾 博志	小木 芳郎	高岡市小学校校長会体育行事委員会	藤井 秀盛	
高岡市ハンドボール協会	永田 義邦	鍋島 遼一	高岡市中学校体育連盟	北川 敬	大道 真琴
高岡市サッカー協会	示森 昇	飯田 融	高岡地区高等学校体育連盟	高森 勇	浦上 樹
高岡市ラグビーフットボール協会	清都 勇之	柴田 正弘	賛助団体		
高岡市相撲連盟	宮本 弥生	中尾 治	高岡市スポーツ少年団	多田 慎一	塩田 孝雄
高岡市アマチュアボクシング連盟	金作 利正	東 勝則	高岡市民レクリエーション協会	宮本 弥生	氷見 脩
高岡市柔道連盟	江嵐 賢治	福田 宗志	高岡市民歩こう会	西田 弘	中谷 進
高岡市剣道連盟	向井 英二	坂井 旭	高岡市体育振興会	山沼 成敏	進藤 洋一
高岡市弓道連盟	川田 行雄	川本 牧雄	高岡市体育指導委員協議会	横田 安弘	中野 光成
高岡市クレー射撃協会	谷口 忠敏	鷲塚 和久	高岡合気道連盟	高田 政公	
高岡市体操協会	山崎 義平	油井 裕			
高岡市自転車競技協会	山沼 成敏	宮田 豊彰			
高岡市アマチュアレスリング協会	青山 純一	麻生 幸雄			
高岡市テニス協会	宮崎 甚一	中尾 英昭			
高岡市ライフル射撃協会	渡辺 辰男	八箇 章介			
高岡市銃剣道連盟	高嶋 義尋	会長兼務			
高岡市アーチェリー協会	藤本 勝己	高林 一郎			
高岡市フェンシング協会	喜多 良明	見津 栄吉			
高岡市空手道連盟	宮本 弥生	島 久雄			
高岡山岳会	森 修作	本郷 潤一			

### 編集後記



荒井新会長をはじめ、役員が大幅に入れ替わりました。競技力の向上と市民のスポーツ活動の普及、振興を図るために、加盟、賛助団体との連携を密にししながら、活動の充実・発展に努めていくことが求められています。

関係各位のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『あすりと高岡』第二十号では、活動の一端を紹介しましたが、ご意見、ご要望をお寄せいただければ幸いです。